

地域の力を最大化せよ! 学び成長し続けるチームづくりの核心

令和6年2月14日 13:30-16:45

受講料
無料



— 走りながら考え、考えながら走る —

「通いの場を増やしてきたのにコロナ禍で参加者が減ってしまった」「協議体を立ち上げてきたものの一向に地域課題は解決しない」
地域包括ケアシステムの構築には多様な主体が絡み、市町村の思うようには進まないことばかりです。

アジャイル型政策共創プログラムとは、あるべき姿までの道のりを描き、状況に応じて修正を重ねていく力を
メンターが自治体職員に寄り添いながら組織に浸透させていくプログラムです。

自立支援・重度化防止

介護予防・健康寿命延伸

医療介護連携

生活支援体制整備

認知症施策

地域ケア会議

対象

地域包括ケア・地域共生の地域づくりに関わる市町村職員や地域関係者
及び市町村の地域づくりを支援する都道府県・厚生局・大学・民間企業等

会場

Zoomウェビナー(オンライン)

申込

事前登録制(参加無料) 途中参加・退出可(後日動画配信あり) お申し込みはこちらから▶

申込登録締切: 令和6年2月8日(木) https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_v0jHjekTmuQacaTZ5hK6Q

※右記URL又はQRコードよりお申し込みください。※自治体のデバイスからのアクセスが難しい場合は、他のデバイスからご登録ください。※後日配信希望の方も上記より事前登録をお願いします。



実施
主体

藤田医科大学
地域包括ケア人材教育支援センター



一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会
医療経済研究機構
Institute for Health Economics and Policy

※本プログラムは、厚生労働省老人保健健康増進等事業「地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた市町村の地域デザイン力を高める組織構築に関する調査研究」の一環として実施しています。

開催スケジュール

開催日時 令和6年2月14日(水) 13:30~16:45

会場 Zoomウェビナー(オンライン)

13:30 - 13:35	開会挨拶 厚生労働省挨拶	藤田医科大学 厚生労働省老健局
13:35 - 13:55	事業紹介・報告	医療経済研究機構
13:55 - 15:25	プログラム参加市町村の成果報告・参加市町村インタビュー 参加市町村がどのようにわがまちに必要な取組を見極めていったのか、 総合事業や生活支援体制整備等による地域づくりの進め方や庁内外関係者 とのチームビルディングの実際のプロセスをご紹介します。	発表者： 4市町村(未定) コメンテーター： プログラムメンター陣
15:30 - 16:40	総合討論 参加市町村の取り組みを引き合いに出しながら、 本プログラムのエッセンスを全国の自治体に共有します。	厚生労働省老健局 プログラムメンター陣
16:40 - 16:45	閉会挨拶	

プログラム顧問・監修

日本社会事業大学専門職大学院
客員教授・元厚生労働省 事務次官

蒲原 基道

昭和57年に厚生省に入省し、大臣官房政策課企画官、大臣官房長、老健局長、事務次官等を歴任。老健局長のときには、平成29年介護保険法改正を行い、地域包括ケアシステムの強化や地域共生社会の実現に尽力。退官後、日本社会事業大学専門職大学院福祉マネジメント研究科客員教授、社会福祉法人友愛十字会理事長等に就任。地域共生社会や介護保険、障害福祉政策をテーマに各地で講演を行っている。

プログラムメンター陣(敬称略)

亀井 善太郎

PHP 総研
主席研究員/立教大学院
特任教授

岩名 礼介

三菱UFJリサーチ&
コンサルティング
主席研究員

三原 岳

ニッセイ基礎研究所
ヘルスケアサーチ
センター
主席研究員

高橋 拓朗

NTTデータ
経営研究所
地域未来デザインユニット
シニアマネージャー

都築 晃

藤田医科大学
講師・地域包括ケア
中核センター

池田 寛

藤田医科大学
講師・地域包括ケア
中核センター
課長

服部 真治

医療経済研究機構
研究部主席研究員

松本 小牧

豊明市
市民生活部
共生社会課
課長

プログラム参加市町村 (12市町村)

北海道深川市、秋田県羽後町、茨城県つくばみらい市、千葉県千葉市、千葉県白井市、
千葉県長生村、新潟県上越市、新潟県出雲崎町、愛知県長久手市、大阪府寝屋川市、
兵庫県淡路市、鳥取県鳥取市

参加者の声 1

白井市 高齢者福祉課
加藤多恵(主任・保健師)



それぞれの思いや、思考プロセスから
行動すべきことが明確に見える

チームで意見を出し合ったりメンターからの問いに対してメンバーが語る思いに触れたりする経験を通じて互いの考えを知り互いの理解が深まってきたと感じました。メンタリングとチームでの話し合いを繰り返すことで、やってみようと思えることに辿り着けました。

参加者の声 2

出雲崎町 保健福祉課
松永佐和子(係長・社会福祉士)



立ち止まらず行動することで
望む結果を導く、アジャイル型を実感

プログラムに参加して自分の物事への考え方が変わりました。「なぜ?」と掘り下げることは分析しようと思ってするのはなく気付いたらしているようになったり、望むアウトカムが起きるにはどうしたらいいかと考えて働きかけたりするようになりました。

参加
特典

本プログラムメンター陣による
メンタリングをご体験いただけます!

令和6年4月~7月頃、計4回(1回/月)開催予定

※詳細は決まり次第ウェビナーにご登録のメールアドレスへご案内いたします。



お問い合わせ: 医療経済研究機構 アジャイル型地域包括ケア政策共創プログラム事務局
(担当: 澤田、加藤) Email: agile@ihep.jp Tel: 03-3593-8918